

編 集 後 記

広島大学技術センター報告集第7号は、『他部門の技術職員にも理解できる，分かりやすい報告集』を目指しました。原稿を執筆される方には，このことを念頭において作成依頼し，執筆の際に工夫していただいたおかげで，本報告集は非常に分かりやすいものとなったと考えております。

編集委員会では技術報告ページの増加を目指し，多くの皆さまに執筆していただきました。そのことで技術職員の，学内外での幅広い活動を掲載することができ，とても充実した内容になったかと思えます。

今回の報告集においても、『平成22年度技術センター研修会』での発表内容を多く掲載しております。また，研修会で初めて行われた『施設見学』については，見学した施設の概要を執筆していただくことでより完成度の高い研修会報告となりました。

編集活動に焦りを感じるさなかの，平成23年3月11日，東北地方太平洋沖地震が発生し，日本は未曾有の大災害に見舞われました。広島大学においても即座に災害対策に乗り出しており，技術センターの職員もまた被災地へ出向き，災害復興に貢献されております。現在もなお，継続して復興活動に参加されている技術職員もおられるということで，私も技術センターの一員として，活動されている方を誇りに思うとともに，自分自身も出来るところから，継続した支援を続けてまいりたいと思えます。

被災された皆さまには心よりお悔やみ申し上げますとともに，一日も早い被災地の復興復旧と，皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

最後に，本報告集にご寄稿頂いた檜山英三自然科学研究支援開発センター長，ならびに，平成22年度技術センター研修会基調講演資料をご提供頂いた青山裕彦医歯薬学総合研究科教授，山本陽介技術センター長，さらに，定年を迎えるにあたりメッセージをご寄稿頂いた向井一夫技術統括に厚く御礼申し上げます。また，本報告集の発行にご協力頂いた，技術センター構成員の皆様にも，深く感謝いたします。

平成22年度技術センター報告集編集委員会

委員長	畠山 照彦 (医学系部門)
副委員長	仲井 敏 (フィールド科学系部門)
副委員長	菅 慎治 (共通機器部門)
	山城 英和 (フィールド科学系部門)
	清水 高 (工作部門)
	原 憲行 (共通機器部門)
	浅田 竜也 (工作部門)
	福島 由佳 (医学系部門)